

# NEWS LETTER

Niigata University of Health and Welfare  
Teaching Career Support Center

## CONTENTS

01. 巻頭言：教職支援センターのこれまでとこれから
02. 校長経験者が語る「本学教職支援センター」について
03. 卒業生の活躍（拡大版）
04. 2022年度の取組紹介
05. お知らせ／今後の予定
06. あとがき

No.10  
..... 記念号 .....  
2023.3

### 巻頭言

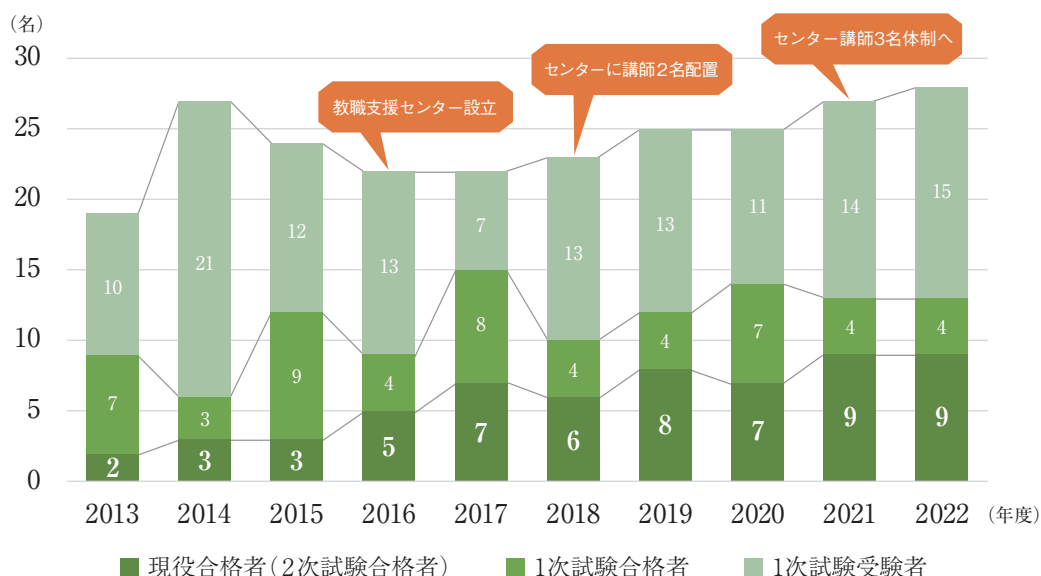
## 教職支援センターの これまでとこれから

教職支援センター長  
吉田 重和  
(健康スポーツ学科)



2016年4月に本学に教職支援センターが設立されてから、早いもので7年が経過しました。また、教職支援センターや教職課程に関する情報をお伝えすべく設立初年度から発行されてきた本ニュースレターも、本号で10号という節目を迎えました。ここを良いタイミングと捉え、本稿では教職支援センターの「これまで」を振り返るとともに、希望を込めて「これから」を綴ってみたいと思います。

まずは「これまで」の成果を確認してみましょう。以下のグラフは、直近10年間の現役生（健康栄養学科・健康スポーツ学科・看護学科4年生）の教員採用試験受験状況の推移を示したものです。2016年度に教職支援センターが設立されて以降、教職に関する情報・状況の共有が進められ、指導体制が質・量ともに拡充されました。これらを細かくご紹介する余裕はありませんが、2018年度より経験豊かな実務家教員が講師として教職支援センターに配置され、複数の学内講座が通年で開講されるようになったのはその一例です。筆記試験を中心とした1次試験対策指導、人物試験を中心とした2次試験対策指導が充実した結果、現役合格者数が着実に増加してきています。この点に明らかなように、教職支援センターの「これまで」は、立ち上げ期として非常に充実していたとみることができます。



グラフ：現役生の教員採用試験受験状況の推移

設立以降の充実した時間を経て、教職支援センターの「これから」はどのように描かれるのでしょうか。その方向性は、「教職支援センター年報」第1号の巻頭言にある「…教職支援センターは、「教師になりたい！」学生・卒業生がいる限り、その想いを受け止め、夢実現に向かって継続的に支援していきます」に示されています。夢実現に向けた支援の一つとして、教職支援センターでは2021年度より、卒業生を対象とした学内講座を開始しました。時間的・地理的な制約はありますが、一人でも多くの卒業生が「教師になる」夢を実現できるよう、着実に支援の輪を広げていきます。また今後は、同窓会活動を通して、教職に就いた卒業生同士を繋ぐ取り組みも新たにしていきたいと考えています。在学中だけでなく卒業後も教職支援センターを利用でき、様々な機会が教職支援センターにより提供されるということを、皆さん今からぜひ覚えておいてください。

教職支援センターはこれからも、教職を目指す皆さんを支えながら、皆さんとともに前に進んでいきたいと考えています。引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

## ◆校長経験者が語る「本学教職支援センター」について

本学教職支援センターに在室されている杉中宏先生、宮川由美子先生、森光雄先生は小学校や中学校の校長経験者です。今回は、先生方より本学教職支援センターについてお聞きしたインタビュー記事を掲載いたします。3人の先生方より、

**①本学学生の強みと弱み** **②教職支援センターの有効活用の方法** **③これから求められる教員とは** についてお聞きしました。



杉中 宏 先生



宮川 由美子 先生



森 光雄 先生

## 1 本学学生の強みと弱み

**強み** 素直に物事を受け止められるところだと思います。本学の学生は大変素直な方が多いと感じています。素直なことは、全ての活動や学びの基本となるため、大切にしてほしいと思います。資格取得を目指す学生が多いため、目標・目的が明確で、全体的に良い方向で学びに向かっている印象があります。そうした面が強みだと感じています。

**弱み** 素直な一方で、様々なところから見聞きした情報をそのまま受け止めてしまうところが少し心配しているところです。学んだことを基に問題意識や課題をもち、学びを広げたり、深めたりするところが弱みと感じます。教員には探求心が必要です。これまでの指導を振り返ったり、改善したりする過程での情報のアップデートは必要不可欠です。そのような意味でも、常に問題意識や課題をもち、学びを広げたり、深めたりすることが大切になります。

**強み** いい意味で骨太なところだと思います。これからの学校現場では、ある程度図太くないとやっていけません。また、「教員を目指す」という目的意識が明確であるところもよいと感じます。講義のスタート時に、私が「これからの人生のほとんどを子どもたちと共に過ごすということの覚悟はありますか？」を問うと、全員がブレることなく「あります」と回答しています。これは非常に良いことだと思います。

**弱み** 「活字離れ」が著しいと思います。私は、敢えて講義の導入で「最近読んだ本」と「最近気になるニュース」について学生に聞いています。最初はスムーズに回答できない学生もいますが、講義を重ねるにつれて、「本を読んでいるな」「ニュースを調べてきたな」と感じるが増えてきます。意図的、意識的に活字に触れる機会を増やしてほしいと思います。

**強み** 強みは「最後までやり抜く力」があることだと思います。特に、教採の対策講座や面接練習等での追い込みでは爆発的な力を発揮する学生が多くいます。正規教員として学校現場で活躍している本学の卒業生も校長や同僚から「最後までやり抜く力」等で高い評価を受けている人が多いと聞いています。うれしいですね。

**弱み** 「計画を立てて地道に実行すること」が苦手な学生が多いと思います。見通しを持って計画的に仕事をするのは教員になってからも必要な力ですので、プラン作成能力、スケジュールマネジメント能力等を教採受験を通して身に付けてほしいと願っています。まずは、教採合格をゴールに定め、そのためにいつまでに何をどれくらいやるかなどのプランを立てることから始めましょう。苦手な人は、一度教職支援センターの私たち教員に相談してみてください。その人に合った勉強方法などをアドバイスできます。

## 2 教職支援センターの有効活用の方法

まずは、機会があるごとに入室することが大切だと思います。どんなことでもよいですし、様々な話をしに来てください。教職支援センターの教員や職員と積極的にコミュニケーションを取れるような場にしていきたいです。また、勉強の場、教採の情報収集の場、モチベーションを上げる場として活用してもらいたいと思います。私が教職支援センターの理想の姿として考えるのは、学生同士が自主的に模擬授業を見合ったり、グループで教採の勉強したりする様子が見られるようになることです。そのような環境を皆さんで作っていきましょう。

まずは、足繁く通ってほしいと思います。教職支援センターでは、何かしらの情報を得ることができます。また、その場に居合わせた仲間と情報交換ができます。教員はコミュニケーション能力が求められます。センターで、たくさんの仲間を作って、頑張してほしいと思います。また、事務関係では、担当者が非常にきめ細やかに支援をしてください。メールは落ちなくチェックしてほしいですし、提出物の期限や返信の締切を厳守する等、社会人として当然求められます。こういった力も教職支援センターの活動の中で今のうちに養っておきましょう。

教職支援センターには、教職関係の図書や資料だけでなく、小・中学校の教室と同じような黒板、教卓、生徒用の机・椅子などもあり、教採の模擬授業や集団討論、場面指導、面接などが練習できる環境が整っています。また、指導主事や管理主事経験のある3人の元校長が講師として曜日ごとに在申していますので、同じ相談でも3人がそれぞれに異なった視点から学生に指導・助言をすることが可能です。まずは、昼休みや隙間時間に教職支援センターに気軽に立ち寄り、そこにいる講師や事務局の方に話しかけてみてください。何かいいことがあるかもしれません。お待ちしております。

## 3 これから求められる教員とは

たくさんありますが、特に「授業力」「カリキュラム・マネジメント力」「協働力」「柔軟な対応力」だと思っています。「授業力」は「教員は授業で勝負する」という言葉があるようにやはり授業力は求められると思います。「カリキュラム・マネジメント力」はキャリアによって変わりますが、その根本は子どもたちがいかに「わかる」や「できる」を味わわせるかということが大事になるので、教育活動全体を通してそれに向けて改善していくことが必要だと思います。「協働力」はいろいろな場面で「チーム〇〇」という言葉があります。教育課題も多岐にわたり複雑化しているので、チームで解決していく力が必要になります。「柔軟な対応力」はその時代や目の前にいる子どもの実態に合わせて柔軟に対応できる力量が大事だと思います。

校長経験者として「こんな先生がほしい」という観点でお話すると「たくさん子どもたちと触れ合ってくれる」「何事も素直に受け止める柔軟な心を持っている」方だと思います。また、努力をおしまないことも大事だと思います。井村雅代氏（リオ五輪、シンクロコーチ）が「一流の選手だからと言って才能に恵まれているとは限りません。身体的な才能は何とかなるんです。一中略一 それよりも大事なのは、何かの壁にぶつかったときに、あきらめずにもっと頑張ろうと素直に思える『心の才能』です。これがなかったら、一流になることはまず無理です。」と述べています。私は、この言葉を受けて、「努力は夢の始まり」と捉えています。努力という言葉は少し古くさいかもしれませんが、忘れてほしくないなとすごく感じるようになりました。

不易と流行という視点から言えば、いろいろとあげられますが、まずは「人間力」だと思います。どんな時代になっても教師にはこの「人間力」が最も大切だと思います。こどもや保護者が「あの先生は信頼できる、何でも話せる、話を聞いてくれる、大好きだ」と思える魅力をもった先生が「人間力」のある先生だと思います。私たちがこの人間力を高めるために自分磨きをしてきましたが、まだまだ不十分です。子どもたちのために自分磨きを続けられる教師はこれからも求められると思います。



## ◆卒業生の活躍 拡大版

現職教員として活躍する卒業生・修士生からのメッセージです。今回は、4名の先生方（健康栄養学科：1名、健康スポーツ学科：2名、看護学科：1名）よりメッセージをいただいています。これから教員を目指す方は、是非参考にしてください。

## ◆message from

夏井 紗野さん  
(2020年度大学院修了生)

所属：新潟県内小学校  
(学校給食センター在勤) 栄養教諭



## 1. 教員になって一番嬉しかったこと、一番辛かったこと

給食のできあがる最高の瞬間に「毎日」立ち会うことができること、その魅力を誰よりも伝えられる立場にすることが一番嬉しいです。辛かったことは特にありませんが、食育の授業準備と、給食管理業務と、年度末の会計業務が重なった時にハードだなと感じました。今後の働き方の課題にしています。

## 2. 今後、こんな教員になりたい 教員としてこんなことをやってみたい

「何かを学ぶ」ことは楽しいだけでは意味がないですが、楽しくなければ続きません。生きている限り、学ぶことは続きます。健康教育はもちろんですが、各教科の学問的な魅力や面白さを引き出せる導線やきっかけになるような給食作り、食育授業などを通して、食の魅力を伝えられる教員になりたいです。また、私自身も人生のどこかで、一度専門機関で「教育」について深く探求してみたいです。

## 3. 後輩へのメッセージ

私は働いて何年かしてから、栄養教諭として働きたいと思い、教員免許を取るためにもう一度大学で学び直しました。いつでも自分の進みたい道は変更できるし、選び直せるし、学び直せます。安心して今熱中していることを真剣に取り組んでみてください。

## ◆message from

村川 舞さん  
(2019年度卒業生、  
小学校教員養成特別プログラム3期生)

所属：新潟県内小学校 小学校教諭



## 1. 教員になって一番嬉しかったこと、一番辛かったこと

子どもたちは本当に素直なので、私の問いかけ、言葉掛け次第で反応が大きく変わります。私の問いかけで早く解きたい！みんなと話してみたい！これはやってみよう！と言ったり、まっすぐに目をキラキラさせたりする瞬間は、とても嬉しいです。ですが、言葉掛けを間違ってしまう、子どもたちのやる気を削いでしまったときは、悔しくて辛くなりました。

## 2. 今後、こんな教員になりたい 教員としてこんなことをやってみたい

様々な考え方や新しいものが次々に取り入れられる日々です。これからどうなっていくのだろうという不安や心配もあります。ですが、それらに臆することなく、新しいことに挑戦し、柔軟に取り入れ、活用できる教員になっていきたいと思っています。

## 3. 後輩へのメッセージ

大学の4年間を大切に過ごしてほしいと思います。どんな仕事に就いたとしても学生生活で学んだことは必ず役に立つと思います。卒業してから「～しておけばよかったな」と思うことがないように、自分がやりたいと思ったことはどんどん挑戦してみてください。

## ◆message from

山田 翔平さん  
(2016年度卒業生)

所属：新潟県内中学校  
中学校保健体育教諭



## 1. 教員になって一番嬉しかったこと、一番辛かったこと

一番嬉しかったことは、現在野球部の顧問をしており、10月に行われた県大会で優勝し全国大会出場を決めたことです。いつか県大会で優勝したいという目標を叶えることができて嬉しかったです。このような幸せな経験をさせてくれた選手たちに感謝しています。

一番辛かったことは、教員は異動を伴う職業なので、前任教の生徒と別れるときはとても辛かったです。

## 2. 今後、こんな教員になりたい 教員としてこんなことをやってみたい

今後は生徒や先生方から慕われる教員になれるように何事も手を抜かず1日1日を大切にしていきたいです。私は、保健体育科の教員なので、生徒が体を動かすことに興味をもってもらえるような授業づくりをしていきたいです。

## 3. 後輩へのメッセージ

教員という仕事は生徒、先生方、保護者などたくさんの人と出会い別れを経験し、自分自身も成長させることが出来る素敵な職業だと思います。辛いことや苦しいこともあるかもしれませんが、その分のやりがいも感じる事が出来ます。

新潟県で一緒に仕事ができることを楽しみにしています！

## ◆message from

大倉 未来さん  
(2015年度卒業生)

所属：新潟県内中学校 養護教諭



## 1. 教員になって一番嬉しかったこと、一番辛かったこと

保健室は、けが、病気、相談、雑談など様々な理由で来室する生徒がいます。大変な事例もあれば楽しい時間を過ごすこともあります。その中でも、たくさん関わった子どもたちから卒業式の日に手紙をもらったことがありました。また、明日からも頑張ろうと思いました。大学卒業後、4月からすぐに「先生」と呼ばれ戸惑いました。養護教諭は学校に一人しかいないため、なかなか相談したり、アドバイスをもらったりする相手もいませんでした。その分、同じ地域や同期の養護教諭とたくさん情報交換をして勉強をしました。

## 2. 今後、こんな教員になりたい 教員としてこんなことをやってみたい

これから、身体の健康だけでなく心の健康にもさらに気遣えるような養護教諭になることを目標としています。子どもによって置かれている背景は様々です。子どもたちはもちろんですが保護者や同僚などからも相談したいと思ってもらえるようにしたいです。

## 3. 後輩へのメッセージ

子どもたちの心身の健康を一番近くでサポートするのが養護教諭のいいところです。大学ではたくさんの方の事を吸収して、将来魅力的な先生になってください！

## ◆2022年度の取組紹介

2022年度に教職支援センターで実施されたイベントの一部をご紹介します。その他にも様々な講座やイベントを開催しています。興味のある方は是非ご参加ください。

2023年  
2月21日  
[火]

## 出願書類作成指導会

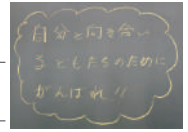


教員採用試験出願書類作成指導会を実施し、20名の学生が参加しました。講師は脇野哲郎先生にご担当いただきました。指導会では、「教員採用試験で願書が大切な理由」「願書提出までの6つのステップ」「自己申告カード等の書き方のポイント」「自己申告カード等の添削指導の流れ」等についてご指導いただきました。今回は、久しぶりに対面形式での実施で、学生は有意義に学ぶことができました。また、学生同士で積極的に意見交換するような姿も見られました。このような場が少しずつ戻ってきていることも非常に嬉しい光景でした。脇野先生の指導は具体例を用いていたため、より実践的でわかりやすい内容となっていました。参加した学生からも非常に好評でした。いよいよ2023年の教員採用試験の出願書類提出の時期も近づいてきました。この学びを活かして自分をアピールしていきましょう。



2023年  
3月9日  
[木]

## 講師希望者説明会



第2回講師希望者説明会を実施し、9名の学生が参加しました。講師は杉中宏先生、脇野哲郎先生にご担当いただきました。説明会では、「講師の種類・待遇」「講師採用の現場から」「心構え」等についてご指導いただきました。校長経験者の先生方からのご指導は非常に参考になりました。学生からも「4月から即実践していきたいです」「ご指導いただいたことを活かして頑張ります」等の意見があり、学びが多い場になったのではないかと思います。今回参加した学生の皆さんは、4月から学校現場で教師として働きます。さまざまな経験をしながら成長し、良い教師となれるように頑張ってください。このように教職支援センターでは、教員採用試験の対策のみならず、様々な講座や説明会等を実施しています。



## お知らせ/今後の予定

## ▶教職担当教員による教員採用試験対策 学内講座

5月～7月にかけて、各種講座を開講中です。4年生を中心に積極的にご参加ください。3年生以下も歓迎します。

曜日	時限	講座	担当教員
月	4限	直前総合演習Ⅳ(保健体育教諭向け)	森先生
火	1限	論文文演習Ⅱ	若月先生・久保先生
水	1限	直前総合演習Ⅰ	脇野先生
水	3限	面接演習Ⅱ	宮川先生
木	3限	教育課題演習Ⅱ	杉中先生
金	5限	直前総合演習Ⅱ(養護教諭向け)	森泉先生
集中講義		直前総合演習Ⅲ(養護教諭向け)	丸山先生

## ▶学習支援センターの利用について

図書館1Fラーニング・コモンズ内学習支援センターでは一般教養の勉強について相談できます。数学・化学・物理や日本語表現、お礼状の書き方の指導も行っています。お気軽にご相談ください。

## ▶外部業者学内模擬試験

2024年度向け模擬試験は後期に予定(詳細はメールで案内します)

## ▶教員採用試験関連イベント

決定次第ご連絡いたします。

## ▶学習ボランティア体験について

学校でのボランティアに興味のある方は、ご相談ください！ [窓口：脇野先生]



## あとかぎ

本学教職支援センターニュースレターは2017年12月に創刊され、このたび第10号の発刊となりました。これまで教職支援センターを支えていただいたすべての皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。このような節目に本ニュースレターの編集をさせていただいたことに大きな喜びを感じております。

個人的に本記念号は、教職支援センターのこれまでの振り返りや今後の在り方を考える良い機会となりました。特に、教職支援センターに在中されている3人の先生方のインタビューを通して、今後の課題やこれからの学生指導について考えることができました。さらに、卒業生が学校現場で活躍している姿を見ることができ、非常に嬉しく感じるとともに、在学生の指導に関する使命感を再認識しました。これを機に、さらに本学教職支援センターの活動の発信を進めて参りたいと思います。

(健康スポーツ学科 高田大輔)



発行 新潟医療福祉大学 教職支援センター運営委員会  
〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地

お問い合わせ

✉ E-mail : kyoshoku@nuhw.ac.jp

🌐 WEB : [https://www.nuhw.ac.jp/teaching\\_career\\_support/](https://www.nuhw.ac.jp/teaching_career_support/)

新潟医療福祉大学 教職支援センター

検索



Niigata University of Health and Welfare  
Teaching Career Support Center

2023年3月31日発行

